鉄骨造	鉄骨の使用量が明確でない建物	鉄骨造	耐火被覆あり		15,400	当たり鉄骨一・〇八トン延べ床面積一〇・〇平方メートル	階層数	1.05 ← 地上5階のもの	1.0 地上3階のもの	→ 0.95 地上2階のもの	延べ床面積
				錆止め塗装のもの	16,440		階高	1.10 ← 4.5m程度のもの	1.0 3.5m程度のもの	→ 0.95 3m程度のもの	
			耐火被覆なし		13,760		規模	1.06 ← 1,000㎡程度のもの	1.0 3,000㎡程度のもの	→ 0.93 10,000㎡程度のもの	
				錆止め塗装のもの	14,800			（注）1.12を上限、0.91を下限とする。			
				亜鉛めっき加工のもの	18,460		工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
	鉄骨の使用量が明確な建物	鉄骨の使用量が明確な建物にあっては、次の算式によって求める。 （算式） 標準評点数＝Ａ×鉄骨使用量（単位ｔ） Ａ：耐火被覆ありのもの 190,210 耐火被覆ありで錆止め塗装のもの 203,080 耐火被覆なしのもの 169,910 耐火被覆なしで錆止め塗装のもの 182,780 耐火被覆なしで亜鉛めっき加工のもの 227,910					規模	1.06 ← 1,000㎡程度のもの	1.0 3,000㎡程度のもの	→ 0.93 10,000㎡程度のもの	
								（注）1.12を上限、0.91を下限とする。			
							工事形態	1.05 ← 複雑なもの	1.0 普通のもの	→ 0.95 単純なもの	
コンクリートブロック造					19,490	当たり一〇・〇九平方メートル延べ床面積一〇・〇平方メートル	階層数	1.10 ← 3階建のもの	1.0 2階建のもの	→ 0.90 平家建のもの	延べ床面積
							階高	1.30 ← 4.5m程度のもの	1.0 3.5m程度のもの		
							壁厚	1.20 ← 20cm程度のもの	1.0 15cm程度のもの		
屋根構造	鉄筋コンクリート造				5,800	当たり一・〇平方メートル建床面積一・〇平方メートル					建床面積
	気泡コンクリート板		150mm 厚		6,890						
			125mm 厚		5,980						
			100mm 厚		5,190						
			75mm 厚		4,670						
	プレキャストコンクリート板		100mm 厚		10,860						
			40mm厚（リブ付）		7,370						
	軽量コンクリート打		大角型波鋼板（捨型枠のもの）1.6mm厚		7,460						
			角型波鋼板（捨型枠のもの） 1.2mm厚		6,130						
			ラスシート（捨型枠のもの）		5,320						
	勾配屋根		鉄骨造		5,010	当たり一・〇平方メートル建床面積一・〇平方メートル	勾配の大小	1.35 ← かね勾配のもの	1.0 4.5/10 程度のもの	→ 0.95 2.5/10 程度のもの	
			木造		7,020		軒出の大小	1.20 ← 軒出の大きいもの	1.0 軒出45cm程度のもの	→ 0.90 軒出の小さいもの	
床構造	鉄筋コンクリート造				4,970	〇平方メートル当たり・延べ床面積一〇平					延べ床面積
	東立床				1,840						
	気泡コンクリート板		150mm 厚		6,930						
			125mm 厚		6,030						
			100mm 厚		5,240						
			75mm 厚		4,640						
	プレキャストコンクリート板		100mm 厚		10,860						
			40mm厚（リブ付）		7,370						
	大角型波鋼板		2.3mm 厚		5,090						
			1.6mm 厚		4,260						
	角型波鋼板		1.2mm 厚		3,880						
			0.8mm 厚		3,320						
	軽量コンクリート打		大角型波鋼板（捨型枠のもの）1.6mm厚		7,460						
			角型波鋼板（捨型枠のもの） 1.2mm厚		6,190						
			ラスシート（捨型枠のもの）		5,330						
	コンクリート叩				3,370						
基礎工事	地階のある建物	根切り工事（割栗地業を含む。）			30,570	深さ五メートル（一・〇平方メートル）	根切り土盛	1.20 ← 深いもの	1.0 普通のもの	→ 0.80 浅いもの	地階部分の面積
							地階	1.20 ← 地下2階のもの	1.0 地下1階のもの		
							地盤	1.50 ← 埋立地等のように軟弱な地盤又は低地で湧水多量の地盤	1.0 普通の地盤	→ 0.85 堅牢な地盤	
							敷地	1.30 ← 商店街等のように建物が密集し作業不便な場所	1.0 普通のもの		
		杭打地業	木杭		9,880	一本	杭の径及び長さ	3.50 ← 末口径18cm長さ12mのもの	1.0 末口径18cm長さ5.5mのもの	→ 0.50 末口径12cm長さ2mのもの	本数
			鉄筋コンクリート杭		27,820	一本	杭の径及び長さ	5.00 ← 末口径50cm長さ14mのもの	1.0 末口径30cm長さ7mのもの	→ 0.40 末口径20cm長さ2mのもの	
			場所打コンクリート杭		539,130	一本	杭の径	1.50 ← 末口径200cmのもの	1.0 末口径100cmのもの	→ 0.80 末口径80cmのもの	
							杭の長さ	1.25 ← 長さ20mのもの	1.0 長さ15mのもの	→ 0.75 長さ10mのもの	
							（注）杭打地業の増点補正率は、最高限を示すものである。				